

令和6年度

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業 効果検証資料

○デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業一覧

No.	交付金対象事業の名称	担当課	事業費（円）
①	あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を～みんなが主役の地域振興事業～	産業・環境政策課	1,405,000
②	脱炭素×ゆとりと賑わいのある地域の絆再構築事業	総務課 企画財政課 国保健康課 産業・環境政策課 建設課 新市街地整備課 生涯学習応援課	85,522,302 ※繰越し事業含む
③	旧巨椋池地区まちづくり推進事業	産業・環境政策課 建設課 新市街地整備課 生涯学習応援課	18,317,192

まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する交付金について

【補助金の概要】

1 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

(1) 目的

総合戦略の本格的な推進に向け、地域再生計画に基づき実施する、自主的・主体的で先導的な事業の実施に要する費用について、複数年度（3年から5年）にわたり国が支援

(2) 交付要件

先駆的事业であり、自立性、官民協働、地域間連携などの要素を満たす事業を選定

(3) 交付率

1 / 2

(4) 交付決定額

58,829,500 円

(5) 交付金充当経費

52,301,448 円

【交付金事業の効果の検証について】

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）制度要綱の第 11 の規定により、交付金の交付を受ける地方公共団体は、事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）を設定の上、その達成状況について、検証するよう努めるものとされています。

【一次評価の凡例】

地方創生に非常に効果的であった	全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
地方創生に相当程度効果があった	一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
地方創生に効果があった	KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
地方創生に対して効果がなかった	KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合

令和6年度地方創生交付金事業 効果検証シート
(デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ))

No.	交付金事業名	担当課
①	あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を ～みんなが主役の地域振興事業～【※広域連携事業】	産業・環境政策課

総合戦略における位置づけ	基本目標	「くみやま」魅力発信	
	施策	1 情報発信の強化 2 魅力の創造・再発見	
事業期間	令和3年4月～令和8年3月（令和3年度～令和7年度）		
事業の概要・目的	<p>京都府や南部関係市町村と連携し、お茶の京都の地域づくり中核組織となる「お茶の京都DMO」（観光関連のいわば地域商社）の事業推進を支援する。</p> <p>【※連携地方公共団体：京都府、宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、本町】</p> <p>今までの観光地域づくりの成果を活かして、観光を入口とした産業振興、雇用創出なども含めた地域振興に繋げる。関係人口の創出拡大や新たな付加価値を生み出す消費・投資を促進し、地域の稼ぐ力をつけるため、事業を展開する。</p>		
事業の内容	<p>全体事業費：165,325,194円（お茶の京都DMO決算額） ○お茶の京都DMO負担金 1,405,000円（久御山町分）</p> <p><事業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> *マーケティング調査 *着地型旅行商品等の開発・造成・販売促進 *特産品の開発・高付加価値・ブランド化販売促進 *情報発信・プロモーション *観光を入口とした持続可能な地域づくり・人材育成 <li style="padding-left: 20px;">*宇治茶プレミアムブランド化推進 		
実績額（決算額）	1,405,000円	うち、一般財源	888,000円
今後の課題	<p>「観光を入口とした持続可能な地域づくり」に資するため、成果と結果を意識したデータ収集と分析・マーケティング調査を実施すること、また、観光消費額、観光入込客の増加、特産品の売上増、地元雇用の拡大、さらに中長期滞在化から移住促進等を図り、地域づくりを進めていく。</p> <p>本町としても、単独の市町村だけでは取り組むことが難しい調査や専門的な視点から進める地域づくりについて、総合プロデューサー的機能を果たすお茶の京都DMOと更に連携を深めるなかで、交流人口の拡大に繋げ、久御山町の知名度向上、さらには産業を活用した地域の発展のために取り組んでいきたい。</p>		

<再掲>

本事業における重要業績評価指標 (KPI)				
指 標	当初値 (R元年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	達成度
①社会動態	(H30) 40人減	33人減	50人増	-66.0%
②観光人口	(H30) 58,832人	82,672人	72,000人	114.8%
③町の歴史・文化を学ぶ講座・イベント開催数	1回	1回	4回	25%
一次評価	地方創生に効果があった。			

<参考>

本事業における重要業績評価指標 (KPI)				
指 標	当初値 (R3年度)	目標値 (R6年度)	実績値 (R6年度)	達成度
①地域への移住者、地域活動にかかわった地域外の人 の延べ人数	704人	1,034人	3,227人	312.1%
②地域での新規就職者数	1,053人	1,498人	799人	53.3%
③本事業により空き家等を 活用して交流を行う拠点数	0箇所	11箇所	11箇所	100.0%
④地域の一人当たり所得向 上額	3.6千円	263.6千円	381千円	144.5%
一次評価	地方創生に相当程度効果があった。			

令和6年度地方創生交付金事業 効果検証シート
(デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ))

No.	交付金事業名	担当課
②	脱炭素×ゆとりと賑わいのある地域の絆再構築事業	総務課 企画財政課 国保健康課 産業・環境政策課 建設課 新市街地整備課 生涯学習応援課

総合戦略における位置づけ	基本目標	1 町内定住の促進 2 産業活力の発揮 5 住民や企業との協働と連携
	施策	1 1 住宅・宅地の供給 2 移動の利便性の向上 3 快適な環境の維持・創出 4 学びと憩いの定住環境づくり 2 1 戦略的なものづくり産業の振興 2 町内企業の育成支援 3 次代に継承する元気な農業の振興 5 1 住民参画につながる機会の充実 2 自治会活動の育成・支援 3 地域コミュニティ活動の推進
事業期間	令和5年4月～令和8年3月（令和5年度～令和7年度）	
事業の概要・目的	<p>脱炭素×ゆとりと賑わいのある地域の絆を再構築することをテーマとし、脱炭素で魅力を育みひとが集う未来のまちづくり、グリーンインフラで憩いつなぐ子育て環境づくり、地域コミュニティ維持と健康で安心な生活を実現する環境の確保、脱炭素と地域コミュニティ形成事業を掛け合わせた取組を横断的に連携して推進することで、相乗効果が発揮され、社会・経済・環境の好循環を実現し、あらゆる世代にとって「住みよい社会」をつくりあげることを目指すものである。</p>	
事業の内容	全体事業費 85,522,302円 I 脱炭素で魅力を育みひとが集う未来のまちづくり 33,607,269円 ■定住予定地の整備推進業務 ■推進コーディネーター委託 ■優良田園住宅可能性調査委託 ■就域ディレクター事業委託 ■産業大使 ■「久御山町「黄金の茶室」メッセナゴヤ出展 ■クロスピアくみやまコワーキングスペース試験運営等実験事業委託 ■クロスピアくみやまコワーキングスペース本格運営に向けたハード整備 ■ウォーキングロード整備	

	<p>II グリーンインフラで憩いつなぐ子育て環境づくり 21,105,816円</p> <ul style="list-style-type: none"> ■特産品開発補助 ■中央公園での町制施行70周年記念イベント ■久御山中央公園事業者選定支援業務委託（繰越事業） <p>III 地域コミュニティ維持と健康で安心な生活を実現する環境の確保 5,258,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ■歩くまち「くみやま」事業運営委託 ■ウォーキングアプリ運営委託 ■ウォーキングアプリシステム運用 <p>IV 脱炭素と地域コミュニティ形成事業を掛け合わせた取組 25,551,217円</p> <ul style="list-style-type: none"> ■自治会DSカルテのシステム構築委託 ■地域のきずな再構築支援事業補助金 ■クールドミノ戦略プロモーション事業 ■まちづくりセンター開館準備委託 		
実績額 (決算額)	85,522,302円	うち、一般財源	42,896,260円
今後の課題	<p>ほとんどの指標が大幅に目標を超える（単年度では未達成であるが、KPI②から④については前年度で計画値を大幅に達成しているため、反動減である）反面、社会動態といった総合的なアウトカムの累計達成が非常に厳しい。子育て支援や健康寿命、地産地消の取組は大いにできている一方で、転出超過が前年度を上回る。これは久御山町に転入・定住する誘因材料が少ないことに加え、空き家が無く住む場所も潤沢ではないことも一因。</p> <p>3年度目については、現在進めている住街区促進ゾーンの整備に向けた取組を強化するとともに、建築中の全世代・全員活躍まちづくりセンターにおける事業を通じて官民連携を強固にし、人が集う取組にさらに力を入れ、後の社会動態増につながる事業を展開していく。</p>		

本事業における重要業績評価指標（KPI）						
指標	当初値 (R4年度)	R5年度	R6年度	R7年度	KPI増加分の累計 上段：目標値 下段：実績値	単年度 達成率 (R6)
		上段：目標値 下段：実績値	上段：目標値 下段：実績値	上段：目標値 下段：実績値		
①社会動態	-166人	55人 -4人	55人 -33人	60人	170人 -37人	-60.0%
②歩くまちウォーキングアプリ登録者の歩数(1人当たりの月平均歩数)	150,000歩	15,000歩 41,220歩	15,000歩 -6,947歩	20,000歩	50,000歩 34,273歩	-46.3%
③くみやま子育て応援センター「はぐくみ」による相談件数	97件	28件 294件	25件 108件	300件	353件 402件	432.0%
④農業の販売会や地産地消イベントの年間参加者数	500人	100人 400人	100人 30人	300人	500人 430人	30.0%
一次評価	地方創生に効果があった					

令和6年度地方創生交付金事業 効果検証シート
(デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進 タイプ))

No.	交付金事業名	担当課
③	旧巨椋池地区まちづくり推進事業	産業・環境政策課 建設課 新市街地整備課 生涯学習応援課

総合戦略における位置づけ	基本目標	1 町内定住の促進 2 産業活力の発揮 3 「くみやま」魅力発信
	施策	1 1 住宅・宅地の供給 2 移動の利便性の向上 3 快適な環境の維持・創出 4 学びと憩いの定住環境づくり 2 1 戦略的なものづくり産業の振興 2 町内企業の育成支援 3 次代に継承する元気な農業の振興 3 1 情報発信の強化 2 魅力の創造・再発見
事業期間	令和6年4月～令和9年3月（令和6年度～令和8年度）	
事業の概要・目的	<p>旧巨椋池地区が位置する町の南西部は、かつて「巨椋池」と呼ばれた広大な湖沼が存在し、水との戦いを強いられてきた地域である。昭和16年に国営第1号の干拓事業によって都市近郊の一大優良農業地帯に生まれかわり、近年は大きな災害に遭うことなく平穏な生活を享受し、弥生時代の古来から連綿と続く周辺の農業と互いに作用し発展してきた。しかしながら、その農業を支える農業者が居住する町北西部の御牧地域は近年人口の減少が続いており、地域活性化に資する賑わい創出や定住促進に取り組み、将来的な人口増加を目指す。</p>	
事業の内容	<p>全体事業費 18,317,192円</p> <p>I 巨大インフラ活用事業 5,401,000円 ■「かわまちづくり構想」策定委託</p> <p>II 東一口（仮）太閤堤集落活性化事業 4,187,412円 ■旧山田家住宅指定管理、イベント実施 ■前川桜並木イベント ■旧山田家住宅保存活用計画検討委員会</p> <p>III 農業振興・直売ネットワーク推進事業 3,782,220円 ■農産物直売ガイドマップ作成 ■農産物直売（クロスピア）レジ等購入 ■府内道の駅等との広域連携事業</p>	

	IV 賑わい創出・定住促進事業 ■住生活調査委託 ■住生活基本計画策定委員会		4,946,560円
実績額 (決算額)	18,317,192円	うち、一般財源	9,158,786円
今後の課題	<p>大幅に達成しているものがあり、個々のニーズには応えられていると考えられる反面、人口増といった総合的なアウトカムに直接資する取組については進行期の段階にあるため未達となってしまう。桜並木の観光入込客数や旧山田家住宅の来館者数など訪れるには魅力的であっても、当該地域は市街化調整区域であり、原則農家の後継でなければ新たな住宅を建築することができないことから、住む場所が潤沢ではないことが影響している。引き続き取組を進め、移住・定住に繋げ、後の人口増に繋がる事業を展開していきたい。</p>		

本事業における重要業績評価指標 (KPI)						
指 標	当初値 (R5年度)	R6年度	R7年度	R8年度	KPI増加分の累計	単年度 達成率 (R6)
		上段:目標値 下段:実績値	上段:目標値 下段:実績値	上段:目標値 下段:実績値	上段:目標値 下段:実績値	
①御牧地域の人口	3,802人	10人 -34人	10人	10人	30人 -34人	-113.3%
②旧山田家住宅入館者数	390人	50人 112人	50人	50人	150人 112人	224%
③東一口桜並木観光入込客数	5,523人	200人 1,657人	200人	200人	600人 1,657人	828.5%
④巨椋池排水機場・久御山排水機場見学者数	202人	50人 375人	50人	50人	150人 375人	250.0%
一次評価	地方創生に相当程度効果があった					